

'87 축산진흥 시책

(농림수산부)

본 자료는 농림수산부의 1987년도 축산진흥사업계획 및 실시요령(축정27420-42, '87. 1. 12)에서 발췌한 것임: 편집자)

I. 畜産政策方向

1. 畜産業의發展過程

'60年代

- 經濟開發基盤造成 및 穀物食品爲主 消費構造段階
- 소는 役用目的 飼育, 돼지·닭은 自給과 副收入目的 畜産傾向
- 輸送手段 및 冷蔵施設 未洽, 畜産振興 4個年計劃 樹立('86)
- 業副産物 및 配合飼料利用 初期段階

'70年代 前半

- 高度成長進入 및 需要創出期(年 3.8% 需要增加)
- 소는 役用에서 副業으로, 돼지·닭은 專業으로 分化
- 長距離生産流通 및 肉類價格의 行政指導價格制 實施
- 生産基盤造成段階突入, 配合飼料供給 圓滑

'70年代 後半

- 高度成長 및 需要急增으로 畜産物消費의 大衆化(年 15.5% 需要增加)

- 過剩·過少生産의 反復으로 需給 및 價格不安定(不足量輸入)
- 需給 및 價格安定에 置重, 輸入肉包裝流通 實施
- 草地造成 및 配合飼料價格安定에 注力(飼料穀物導入量 增加)

'80年代 前半

- 安定成長期로 畜産物의 必須食品化, 소는 肉用中心 飼育으로 轉換, 돼지·닭은 生産集中化
- 飼料穀物 節減施策推進(國內穀物使用, 改良牧草增産)
- 收買·備蓄 및 生産調節 誘道等 生産者價格安定에 置重
- 都賣市場, 加工工場等 流通施設 改善 및 擴充

2. 畜産政策 目標

가. 畜産物需給 및 價格安定

<價格安定>

- 適正飼育頭數維持를 爲한 需給豫測 및 自律調節機能強化
- 畜産業 登錄許可制 運營強化로 過剩生産 抑制

- 出荷調節機能 活性化
- 畜産物 價格安定을 爲한 収買備蓄 및 放出의 彈力的 運用
- 公共機關의 需給調節機能力 補強
- 流通施設 및 組織의 圈域別 統合整備등 流通改善
- 畜産物 輸出擴大를 爲한 與件造成

○ 畜産物 需要推定

		'85	'86 (P)	'87	'91
I 入 當 (kg)	肉 類	14.4	14.2	15.3	17.8
	쇠고기	2.9	3.4	3.4	3.9
	돼지고기	8.4	7.7	8.7	10.3
	닭고기	3.1	3.1	3.2	3.6
	鷄 卵	7.2	8.0	8.2	8.1
	牛 乳	23.3	27.8	31.0	44.3

○ 家畜飼育計劃

		'85	'86	'87	'91
소	計	千頭			
		2,943	2,807	2,748	2,777
	韓(肉)牛	2,553	2,370	2,265	2,094
	乳 牛	390	437	483	683
돼	지	2,853	3,347	3,600	4,495
닭		萬首			
		5,108	5,610	5,803	6,516

○ 畜産物 生産計劃

		'85	'86	'87	'91
肉 類	計	千M/T			
		588	588	642	793
	쇠고기	116	139	143	172
	돼지고기	346	320	365	460
	닭고기	126	129	134	161
牛	乳	1,045	1,212	1,345	1,913
鷄	卵	296	332	346	362

나. 家畜改良方向

- 基本方向
 - 韓牛 純粹繁殖에 依한 肉用化 改良
 - 돼지, 닭 改良目標와 方向 設定으로 改良體制 定立
 - 젓소 産乳量과 乳質等 同時 改良
 - 既存改良事業의 綜合 連繫 推進
- 家畜改良目標

		'86	'91
韓牛	體 重 (18個月)	460kg	500
	(農 家 平 均)	(420)	(460)
젓소	産乳量 (305 日)	5,400kg	5,800
	(農 家 平 均)	(4,770)	(5,000)
돼지	• 飼 率 效 率	280日	2.65
	• 日當增體量	840 g	870
	• 등지방두께	2.0cm	1.8
	• 1腹當産仔數	9.5頭	10.5
닭	• 2kg到達日齡	49日	45
	• 産 卵 數	年 252個	265

다. 飼料自給度 提高

○ 自給飼料 生産基盤 擴充

	'86	'91
草 地 造 成	85千ha	210
青刈飼料作物栽培	100	240
畚裏作飼料作物栽培	100	175
計	285	625
實採取可能量(青草80%適用)	9,846	23,416

- 볏짚 암모니아 處理事業 擴大
- 導入 飼料原料의 積極的 抑制
 - 國內産 原料의 飼料利用
 - 輸入穀物의 限度 管理 強化
 - 飼料穀物 使用比率 縮小(60% 以下로 誘道)
 - 汎國民的 配合飼料 節減運動 展開
- 飼料穀物의 多樣化 推進

- 옥수수 使用比率：60%以下
- 其他 穀物使用比率：40%以上

II. '87畜産 主要施策

1. 畜産物需給 및 價格安定

〈畜産物 需給展望〉

		'86		'87		'87/'86	
		總量	1人當	總量	1人當	總量	1人當
肉類	쇠고기	千M/T	kg			%	%
	돼지고기	139	3.4	143	8.7	102.2	100.0
	닭고기	320	7.7	365	8.6	114.1	113.0
	小計	129	3.1	134	3.2	103.9	103.2
牛乳	588	14.2	642	15.3	109.2	107.7	
牛乳	1,162	27.8	1,306	31.0	112.4	111.5	

〈家畜飼育展望〉

	'86	'87	'87/'86
소	千頭		%
• 韓(肉)牛	2,807	2,748	97.9
• 젖소	2,370	2,265	95.6
	437	483	110.5

〈價格安定〉

소

- 適正 飼育頭數 維持로 安定的 所得保障
 - 쇠고기의 彈力的 收買 放出：5萬頭分 500億원
 - 經營指導을 통한 生産費 節減
 - 收買包裝肉의 擴大 放出：330→450頭 /日
 - 觀光호텔用等 쇠고기 國産肉 供給：年間 2,400%
- 家畜改良基盤造成으로 生産性 提高
 - 國·道立 種畜院(場)의 能力檢定體制

確立

- 生牛 對日 輸出促進：4,000頭

牛乳

○ 牛乳需給安定

- 生産調節：低能力牛 淘汰 獎勵(6萬頭) 송아지 母乳먹이기 運動 展開
- 消費擴大：學校給食事業 積極 推進(300萬名) 牛乳大量消費處 開發 및 牛마시기 生活化 牛乳消費 擴大 弘報 實施

○ 酪農經營合理化 指導 및 教育

- 젖소能力向上, 粿飼料利用, 生産性向上 等

2. 家畜改良 및 養畜經營安定

〈家畜改良事業〉

○ 人工授精事業

- 人工授精事業計劃：('86)1,230→('87)1,215千頭
- 精液需給
 - 需給計劃：畜協中央會長이 別途로 樹立
- 精液生産 및 供給體制 確立
 - 生産
 - 韓牛：畜協 韓牛改良事業所
 - 乳牛：國立種畜院, 畜協乳牛改良事業所
 - 肉牛：濟州畜産開發事業所 畜協乳牛改良事業所
 - 供給：畜協中央會(乳牛改良事業所) 但, 濟州道는 濟州畜産開發事業所
- 人工授精師 資質向上

· 技術教育, 授精證明書 및 血統管理
強化

○ 能力檢定事業

韓牛

○ 當代檢定: 國立種畜院(南原支院) 各道
種畜場 高領地 試驗場

○ 後代檢定: 畜協韓牛改良事業所

○ 檢定方法

- 農水產部告示 第85-59('85. 11. 18)號
에 依함

乳牛

○ 乳牛群 能力檢定

〈養畜經營安定〉

○ 經營指導

- 畜產施策弘報 및 觀測의 波及을 爲한
對 農民教育

- 全 飼育農家 中心 經營 및 飼養技術
指導

- 養畜農家 經營診斷과 生産費 分析에
依한 經營改善

○ 經營技術教育

- 市·郡單位 教官教育: 600名(行政 및
指導機關, 畜協)

- 養畜農家 飼養技術教育: 200千名(里·
洞單位 巡迴教育)

- 經營分析資料 調查: 800戶(繁殖 400,
肥肉牛 400)

3. 畜產物 流通改善

○ 家畜市長 開設과 業務處理 一元化(畜產
法 改正)

- 開設(市長, 郡守) 및 管理(地域畜協)을

地域畜協으로 一元化

○ 家畜市長의 電子式 競賣市場化

- 競賣制度 先進化로 公正去來 早期 定
着

- 農家 收取價格 提高로 農家所得 增大

○ 畜協 屠畜場의 食肉 센터化

- 屠畜, 加工, 販賣施設 併設로 食肉 流
通센터化

- 精肉 流通化 및 副産物의 商品性 提高

○ 소·돼지 屠體 等級制 推進

- 屠體價格의 客觀的 評價基準 設定

4. 飼料需給安定과 粗飼料 增産

○ 飼料原料 導入抑制 및 節減

- 國內原料 使用: 옥수수 59千 $\%$

- 飼料穀物 輸入限度 管理制 運營

- 配合飼料 節減을 爲한 飼養指導

○ 飼料原料의 安定的 供給

- 輸入飼料原料의 適期 適量 確保

- 國內 適正 在庫水準 維持

- 飼料穀物 多樣化의 持續的 推進

○ 配合飼料의 價格安定

- 健全한 市場競爭體制 誘道

- 流通段階 短縮으로 廉價販賣 誘道

○ 草地造成 및 事後管理 徹底

- 草地造成: 6,000千 ha

· 一般草地: 5,680 ha , 畜協示範草地:
320 ha

○ 飼料作物栽培 : 235千 ha

- 青刈飼料作物 : 120 ·

- 番裏作飼料作物 : 115 ·

○ 乾草增産: 2,400千 $\%$ (青草量 9,600千 $\%$)

○ 菁飼料 去來市場 育成

- 道當 2個所씩 畜協에 開設

○ 芻秣(보리짚) 암모니아 處理事業

- 處理量: 45千基(基當 3 $\%$ 基準)

- 飼料生産量：135千 $\frac{1}{2}$

말 10)

5. 畜産物衛生 및 防疫

○ 畜産物 衛生

- 屠畜場 施設近代化 및 經營의 合理化
- 衛生 屠鷄肉 流通定着
- 畜産物 検査員 配置：155名

○ 家畜防疫

- 豫防注射：5,490千頭
- 慢性傳染病 早期 索出 檢診：485千頭
- 寄生蟲 驅除：2,620千頭
- 血清検査事業：38千件
- 土種犬 防疫：24千頭
- 殺處分 補償：660頭(소 250, 돼지 400,

○ 家畜診療

- 公獸醫配置：324名
- 公獸醫動員：延 39千名
- 無料診療：50千頭
- 獸醫師 補修教育 및 自體検査員 教育：2回
- 獸醫技術 普及事業：12回
- 動物藥品 品質管理點檢：年2回以上

○ 不正畜産物 流通防止

- 密屠殺, 強制 給水行爲, 不正屠畜

○ 獸醫藥事 監視

- 無資格者 取扱行爲, 未檢定品 販賣
- 無許可製品 取扱
- 有效期間 經過品 取扱

6. '87畜産事業資金計劃(案)

事業別	事業費 (百萬元)	財 源 別 内 譯							
		國 費	地方費	畜 産 振 興 基 金					
				補助	基金 事業	融資	資産 取得	其他	計
1. 事業支援	163,304	9,692	816	61,476	4,669	8,780	1,041	76,830	152,796
가. 小入殖農家支援	6,397	6,397							
나. 家畜改良	5,761			2,603	2,590			568	5,761
다. 飼料對策	12,635	824	816	3,694	622	6,448		231	10,995
라. 畜産物流通	58,159			54,668	1,037	2,332		122	58,159
마. 家畜防疫	2,800	1,749		511	420			120	1,051
바. 其他	77,552	722							76,830
2. 需給調節	53,900					53,900			53,900
가. 畜産物	49,400					49,400			49,400
나. 系統出荷先給金	2,500					2,500			2,500
3. 畜産部門特別支援	1,500			756		40		704	1,500
4. 事業管理費	291							291	291
5. 像備費	1,112							1,169	1,169
合 計	220,164	9,692	816	62,232	4,669	62,720	1,041	78,994	209,656

Ⅲ. '87畜産事業實施要領

1. 畜産物 流通改善

가. 소, 돼지屠體 等級制 實施

(1) 目的

屠體의 價置를 客觀的으로 評價할 수 있는 基準 設定으로 公正價格形成 誘道 및 肉質改良 圖模

(2) 基本方針

- 公正한 價格形成으로 生産者 및 消費者保護
- 肉質改善을 통한 食肉生産方向 提示
- 部位別, 等級別 差等價格制 誘道

(3) 事業推進

- 屠體等級案 作成(畜産試驗場)
 - 牛枝肉: 品種, 成熟度, 色等を 勘案, 5等級水準 設定
 - 豚枝肉: 屠體種, 背脂肪層두께, 屠體의 外觀, 肉質等を 勘案, 5等給水準 設定
- 屠體等級基準 確定
 - 關係機關, 團體, 企業, 專門家와의 協義後 意見綜合
 - 農林水産部에서 等級基準 確定
- 等級士 養成
 - 畜産試驗場 또는 畜協中央會 主管 下에 屠體等級基準 教育 및 等級士 養成
- 等級制實施 弘報

나. 電子式 競賣家畜市場施設 支援

(1) 目的

家畜市場內의 公正去來 早期定着으로 養畜農家保護 및 流通制度改善

(2) 基本方針

- 示範的인 電子式 競賣家畜市場育成
- 競賣制度의 先進化로 公正去來 早期定着 誘導
- 農家收取價格 提高로 農家所得增大 寄與

다. 畜協屠畜場 食肉流通센터 設置

(1) 目的

畜協屠畜場 運營 活性化로 肉類流通制度 改善 및 需給圓滑圖模와 衛生的인 肉類供給으로 國民保健向上 寄與

(2) 基本方針

- 畜協屠畜場 活性化로 不條理 發生防止 및 流通秩序 確立

라. 畜産物消費 및 流通弘報

(1) 目的

- 畜産物 弘報에 의한 消費者 認識提高로 消費促進
- 生産者 團體를 통한 自律的인 生産調節 誘導
- 濃厚飼料節減으로 外貨節約 및 經營 合理化 圖模

(2) 基本方針

- 畜産物 消費促進으로 需給 및 價格 安定 誘導
- 肉類流通構造 改善
- 國內賦存飼料 資源開發利用 擴大

2. 畜産物 需給 및 價格安定

가. 소 및 쇠고기의 需給 및 價格 安定

(1) 適正飼育頭數維持로 安定的 所得保障

(2) 소 및 쇠고기의 彈力的 收買·放出

○ 소 収買備蓄事業

- 収買計劃：50千頭(50,000百萬원)
- ※ 金額은 回轉資金으로 活用 勸案
- 収買時期：價格動向에 따라 農林水産部長官이 決定
- 財源：畜産振興基金
- 道別配定量 및 韓冷引渡量決定
 - 地域別 價格動向, 飼育頭數, 急冷能力, 保管能力 등을 勸案 畜協中央會長이 韓冷社長과 協義決定後 農林水産部長官에게 報告
- 収買方法
 - 品目：韓牛
 - 規格別 價格動向을 勸案하여 農林水産部長官이 決定
- 収買價格：當日 収買市場去來價格보다 多少 높은 價格으로 地域 畜協 組合長이 決定
- 収買市場選定 및 1日 収買計劃量 配定
 - 畜協 道支部長이 収買規格의 出場頭數 및 價格動向을 把握하여 道知事와 協義 決定
- 屠畜場 選定
 - 生牛 輸送距離 및 保管倉庫와의 距離, 屠畜能力을 勸案, 畜協中央會長과 韓冷社長이 管轄 道知事와 協義 決定
- 其他
 - 生牛 収買에 따른 細部實施要領은 畜協中央會長이 決定 施行한다.
- 収買包裝肉의 擴大 放出
 - 既存包裝肉 販賣網의 整備(6,100個所)
 - 包裝肉放出增大(1日 330→ 450頭)

(3) 消費促進

- 連動價格制를 部位別 差等價格制로 轉換
- 觀光호텔用 等 쇠고기 國産化代替
 - 高級部位의 國內産 韓牛肉 供給(年間 2,400M²)
- 生牛 對日輸出 促進
 - ('86) 1,808 → ('87) 4,000頭

나. 牛乳需給安定

(1) 牛乳需給計劃

區分	單位	'87計劃	'86實績(推進)	對比
需 要	千M/T	1,306	1,162	112.4 %
(1人當)	kg	(31.0)	(27.8)	
供 給	千M/T	1,356	1,212	111.9
-前年移越	"	50	57	
-當年生産	"	1,306	115.5	113.1
-輸 入	"	-	-	
次年移越	"	50(粉乳5.5)	50(粉乳5.5)	100.0
젖소 増殖	千頭	483	437	

'87次年移越量은 粉乳換算 5.5千M²으로 推定되나 對策推進으로 3千M²水準으로 維持코자 함.

(2) 牛乳需給 安定對策

1) 生産調節

- 젖소 低能力牛 도태 勸獎
 - 生産者團體, 畜協, 乳業體, 政府機關에 서 酪農家 指導
 - 弘報傳單, 畜産關係 雜誌, 社報, 畜産 觀測情報紙, 大衆弘報謀體, 經營指導員, 酪農教育等 活用
 - 目標：('86) 52 → ('87) 62千頭
- 송아지에 어미젖먹이기運動 展開
 - 擔當機關 및 推進方法은 젖소低能力牛 淘汰와 同一
- 酪農 經營合理化 指導 및 教育

- 苴소 能力向上, 粵飼料利用, 生産性 向上 等

2) 消費擴大

(가) 學校兒童 牛乳給食事業의 積極推進

1) 目的

- 牛乳消費의 低邊擴大
- 酪農振興의 持續的인 基盤 構築
- 學校兒童의 體位向上
- 食生活의 改善

2) 給食目標

- 給食對象: 國民學校 學生
- 給食目標: 2,921.3千名/1日
- 給食期間: '86. 2. 1~12. 31(開學中180日 基準)

3) 補助給食要領

- 給食對象牛乳는 島嶼僻地는 粉乳(22g), 其他는 白色市乳(200ml)로 함.
- 給食單價는 粉乳의 경우 75원, 瓶 또는 樹脂의 경우 112원, 종이包裝은 122원임.

3. 養畜經營安定

가. 韓牛入殖 支援事業 事後管理

(1) 目的

- 韓牛入殖支援 農漁家에 대한 入殖牛 事後 管理와 農家의 養畜經營改善에 의한 安定的 飼育基盤 維持 및 農家 所得增大 寄與

(2) 主管: 市·道知事

實施機關:

市長·郡守: 支援家畜, 施設 및 裝備 管理 指導

融資金 實行組合: 融資金 管理

(3) 管理對象: 畜産資金 支援農家, 入殖家 畜, 施設, 裝備 및 資金

(4) 對象事業內容

事業別	支援年度	全支援額	支援額
조강安定을 위한 소入殖	'85	49,940	22,982
韓牛數殖牛 圃地造成(行範圃地造成)	'82~'84	100,590	65,877
암송아지 入殖	'82	59,742	17,916
專業養畜農家育成	'82~'83	6,063	3,988
導入肉牛入殖農家 韓牛代替入殖	'84	26,890	17,568
畜産振興 地方特化事業	'82	3,852	1,800
其他 特別支援事業	'82~'84	5,778	2,005
合 計		252,855	132,136

* 其他事業은 1 마을 1 所得, 太白地區, 宜寧 地區, 大清洞, 求禮郡 및 창동 地域 特別支援分임

(5) 管理期間

各事業의 支援 以後부터 同事業의 融資金을 償還 完了時까지

(6) 管理台帳 備置

- 市·道知事는 支援事業別 市·郡別管理台帳에 管理狀況을 記錄維持한다.
- 市長·郡守는 支援事業別 農家別 管理台帳에 入殖牛 管理狀況 融資金의 償還등을 記錄 維持한다.

(7) 農家教育 및 經營指導

- 各 市·道, 農村指導機關 및 畜協 合同實施

(8) 定期 實態調査

- 市·道知事는 年2回 (6月, 12月) 管理對象에 對한 定期 實態調査를 實施 한다.
- 調査結果는 다음 書式에 의거 翌月 15日 (年2回)까지 報告한다.

(9) 不實農家 補完

- 實態調査 實施機關은 不實農家 (任意 賣却, 不適格 飼育등) 發生時는 1個月 以內에 是正 補完토록 措置한다.
- 不實農家가 是正 期限內에 補完치 않을時는 融資 實行組合에 通報하여 支援資金을 즉시 回收토록 措置한다.
- 融資實行組合은 農·畜協 與信管理規程에 의거 不實農家의 融資金을 지체없이 回收 한다.

(10) 其他事項

- 市長·郡守는 畜産資金을 支援 받은 農家가 正當的으로 管理를 못한다고 認定할 경우 그 農家의 同意를 받아 다른 適格 農家에게 管理를 讓渡하게 할 수 있다.

4. 導入肉牛 事後管理

(1) 目的

- 導入肉牛 入殖農家에 대한 飼養管理 指導등 事後管理로 肉牛飼育의 安定化 圖謀

(2) 主管：市·道知事

- 實施機關：市長·郡守 및 融資實行組合
- 管理對象：'83~'84 肉牛入殖 農家, 肉牛 및 資金

(3) 推進要領

- 市·道知事는 農家에 入殖된 肉牛의 事後管理 및 技術指導를 畜協 및 關係機關과 緊密히 協調하여 實施한다.
- 道·市·郡, 畜協에서는 事後管理台帳에 管理現況을 記錄 維持한다.
- 支援資金의 管理는 農·畜協與信管理 規程에 의한다.

(4) 農家指導

- 放牧場 및 飼育場을 積極 活用하여 飼育環境을 改善토록 指導한다.
- 農家에서 共同活용이 未洽한 地域의 放牧場 및 飼育場은 地域 畜協이 施設을 補完하여 生長物事業 施設로도 活用할 수 있도록 積極 協調토록 한다.

(5) 農家教育

- 市·道知事는 農村指導機關과 畜協 合同으로 農家교육과 經營指導를 實施한다.

(6) 定期 實態調査

- 市·道知事는 年2回 (6月, 12月)에 걸쳐 管理對象 農家에 대한 定期 實態調査를 實施하고 그 結果를 다음 書式에 의거 翌月 15日까지 報告한다.

(7) 不實農家 補完

- 事後管理 擔當機關은 不實農家 (任意 賣却, 飼育頭數 不足등) 發生時 1個月內에 是正補完토록 措置한다.
- 不實農家가 是正期限 內에 補完치 않을時는 融資實行調査에 通報하여 支援資金을 즉시 回收토록 措置하고 組合은 與信管理規程에 의거 不實農家의 融資金을 지체없이 回收한다.

4. 苜蓿 (보리짚) 암모니아 處理事業

(1) 目的

- 賦存飼料資源인 苜蓿(보리짚)을 암모니아 處理하여 飼料的 價値를 增進 하므로 國內 粗飼料資源 利用 擴大와 配合飼料의 使用量 減小로 畜牛飼育 農家의 自給飼料 生産基盤 擴大

(2) 事業量

- 處理量：45,000基 (基當：3¼ 基準)
- 암모니아處理 飼料 生産量：135千¼

(3) 支援計劃：別途示達

*註：1基當 金額 개스費：27,000원
 注入費：13,000원
 리닐費：12,000원

(4) 사업기간 및 처리계획량

區分	事業期間	處理量	備考
1次	'87. 4~8月	10%	보리짚
2次	'87. 10~12月	70	햇보리짚
3次	'88. 1~3月	20	묵은보리짚

5. 飼料検査

(1) 目的

飼料の一般成分 및 有害物質에 對한 検査強化로 飼料의 品質을 保障하고 不良飼料의 流通을 防止하여 養畜農家 保護

(2) 飼料検査計劃

- 検査計劃量 : 6,500點
- 配合飼料 (代用乳 包含) : 5,000點
- 單味飼料 (補助飼料 包含) : 1,500點

(3) 細部指針

1) 飼料成分에 對한 検査徹底

- 登録된 成分量 確認
- 公定規程에의 適合與否
- 異物質 및 有害物質의 含有與否
- 重量
- 包製이나 容品の 表示事項

2) 飼料検査業務 指針 遵守

- 飼料検査業務指針 遵守 徹底
- 未許可 및 未登録業體의 不良飼料 團束 強化
- 行政處分 履行狀態 隨時 點檢實施
- 養畜農家 検査要請分에 對한 迅速한 検査로 民怨防止

(5) 其他事項

- 市地域 (서울, 釜山, 大邱, 仁川, 光州) 에서는 他市道에 있는 製造業體에서 生産된 配合飼料는 検査計劃物量の 5%, 單味飼料는 10%以上 検査할것.
- 道地域 (濟州道 包含) 에서는 他市道에 있는 製造業體에서 生産된 配合飼料 및 單味飼料 共히 10%以上 検査할것.
- 分期別 및 違反業體에 對하여는 農林 水産部에서 特別管理業體로 指定하여 集中的으로 検査實施

(單位 : 千圓)

事業名	事業量	事業費				備考
		計	國費	地方費	基金	
豫防注射	5,490千頭	1,476,700	918,400	558,300		
檢診	485千頭,首	66,000	33,000	33,000		
血清検査事業	38,400件	156,240	156,240			
乳房炎防除事業	3千件	12,000	12,000			
寄生蟲驅除	2,620千頭	245,000	171,500	73,500		
豫防藥品檢定費		153,768	153,768			
馬匹檢診	3千頭	30,000	30,000			
家畜防疫 및 材料費		27,260	27,260			
小計		2,166,968	1,502,168	664,800		
珍島犬防疫	24千頭	30,000	21,000	9,000		
家畜衛生試驗所增設	1個所	91,240	45,620	45,620		
殺處分補償		380,000	180,000		200,000	
濟州道부르세라特別防除		40,000			40,000	
動物檢疫所燒却爐設置	1個所	120,000			120,000	
合計		2,828,208	1,748,788	719,420	360,000	

6. 家畜診療

護

- 開業獸醫師의 診療技術 및 資質 向上
- 動物藥品의 品質向上

〈基本方針〉

- 公獸醫의 診療活動 強化로 養畜 農家保

(單位：千圓)

事業名	事業量	事業費			
		計	國費	地方費	基金
計		1,008,177	161,369	155,364	691,444
公獸醫配置	324人	310,728	155,364	155,364	
獸醫師國家試驗	1回	6,005	6,005		
獸醫師補修教育 및 自體	2回	24,884			24,884
檢査員教育					
公獸醫動員	38,880人	466,560			466,560
獸醫技術普及事業	12回	20,000			20,000
零細養畜農家無料診療	50,000頭	180,000			180,000

7. 不正畜產物 流通團束

가. 不正畜產物 流通防止

(1) 目的

獸畜의 密屠殺, 強制給水 및 不正肉 取扱 行爲를 未然에 防止하므로서 肉類 流通 秩序 確立하여 畜産振興基盤構築과 國民保健向上에 寄與코자 함.

(2) 不正畜產物 團束

1) 類型別 團束對象

2) 密屠殺

3) 強制給水水行爲

4) 不正屠畜

○ 強制給水牛屠畜 및 屠體注水 行爲

○ 法定 禁止畜 屠畜

— 種畜 및 候補種畜

— 妊娠牛

○ 檢査員 不在時 屠畜

○ 申請書 未接受分 屠畜

○ 其他 行政指示 違反

○ 搬出規程 違反

○ 돼지 剝皮告示地域에서의 未剝皮豚肉 流通

(3) 團束實施要領

1) 合同團束班 編成

- 中央：農林水産部, 保社部, 檢察 또는 治安本部와 合同으로 編成 運營
- 市·道：畜政, 保健, 警察 合同으로 編成 運營

○ 合同團束期間

— 肉類盛需期 (新·舊正 및 秋夕等)에 虞犯地域 및 業體 集中團束

— 情報(提報)에 依據 密屠殺, 強制給水, 未檢査肉取扱業所等 常習地域 特別團束

2) 定期團束

○ 團束班 編成

— 中央：農林水産部 團束班

— 市·道：市道 自體 編成

○ 團束期間

— 每月 1回以上 虞犯地域 不時 團束

- 變質製品 取扱行爲
- 過大廣告

나. 獸醫藥事監視

(1) 目的

不正動物藥品, 不正動物用醫療用具 및
不正動物用衛生用品의 製造, 販賣 取扱
等 行爲를 防止하여 養畜農家 保護

(2) 期間 : 年中實施

(3) 對象業所 : 製造業體, 販賣業所, 動物
病院等

(4) 重點監視對象

- 無資格者 取扱行爲
- 未檢定品 販賣行爲
- 無許可製品 取扱行爲
- 有效期間 經過品 取扱行爲

다. 不良衛生用器 流通防止

(1) 目的

不良衛生用器製造에 流通防止로 國民
保健向上에 寄與

(2) 團束對象業所

- 無許可 製造業所
- 衛生用器 販賣業所
- 製造業所

(3) 團束對象

- 搾乳機, 冷却機, 집유탱크, 原乳機, 屠畜
檢印機, 屠畜檢印用色素의 無許可製造
및 不良製造·販賣行爲

※ 사료검사결과통보

(위배사항 및 과징금처분 내역)

(경상남도)

사료 공장명	사료명	성분 번호	제 조 일 자	검 사 일 자	위 배 성 분 명	성 분 기 준 치	분 석 결 과		위 배 내 역		과 징 금 부 과 금	검사 기관
							1차	2차	1차	2차		
진 흥 사 료	갓 난 돼 지	2-11	86 8. 27	8. 28	칼 습	이 상 0.7%	% 0.61	% 0.45	부 족 0.1%	부 족 0.2%	원 1,100,000	경 남
영 남 제 분	착 유 3	3-25	86 8. 28	8. 30	조 단 백 질	이 상 17%	% 15.81	% 15.58	부 족 0.7%	부 족 1.0%	원 1,500,000	"
한 국 사 료	어 분 4	21-4	86 8. 11	8. 28	조 단 백 질	이 상 50%	% 48.68	% 47.17	부 족 0.4%	부 족 1.9%	원 50,000	"
"	"	21-4	86 9. 10	10. 15	조 단 백 질 토 사	50%이 상 2%이하	% 47.99% 4.50	% 46.30% 3.48	1.1%부 족 2.3%초 과	2.8%부 족 1.3%초 과	원 100,000	농 수 산 부
일 성 산 업	어 분 1	16-1	86 10. 19	10. 23	조 회 분	이 하 23%	% 25.02	% 25.10	초 과 1.7%	초 과 1.7%	원 40,000	"
일 성 산 업	어 분 1	16-1	86 10. 7	10. 22	조 회 분	이 하 23%	% 24.07	% 23.84	위 배 0.7%	위 배 0.5%	원 40,000	"